

# 立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

## あべともこニュース

### 補正予算も、幼児教育無償化も、命軽視の一時しのぎ策！

#### ◆補正予算で見える水道法改正の矛盾

11月2日に7月豪雨や大阪府北部地震の復旧・対策費を盛り込んだ9356億円の補正予算が成立しました。

立憲民主党の厚生労働部会では被災した水道施設の対策が論議となりました。原型復旧や応急施設に89億円の予算がつけました。水道管破裂や浄水施設の被災で、7月豪雨では18道府県で最大26万世帯が断水。北海道胆振東部地震では道44市町村で6万8千世帯が断水したからです。

しかし、その背景には老朽化した水道管の交換や耐震化が進んでいないという実態もあります。今臨時国会で安倍政権が成立を目指す水道法改正は「そもそもその現実を踏まえたものなのか？」

阿部知子がそう問い質すと、厚労省水道課は、「確かに水道管路の更新率は年平均0.75%です」と回答。

この調子でいけば、更新には130年を要すること。命の水の問題は今後も議論が必要です。

#### ◆安全が確保できない拙策な幼児教育無償化

安倍首相は、消費税率10%への引上げ論議の時には無かった幼児教育の無償化を、地方自治体との協議もなく、昨年10月の総選挙前に掲げました。

そして無償化予算を国が全額負担するかのような幻想を振りまいてきましたが、今になって政府関係者からは、財源の一部を自治体に求める発言が飛び出しています。

そこで、11月7日、党の子ども子育てPTは、全国市長会がまとも次のような提言を、泉房穂・明石市長らからヒアリングしました。

・ 幼児教育無償化は地方負担を増やさず、国が全額を確保すべき。  
・ 政府は補助の対象を認可外にも広げると言いますが、痛ましい保育事故の多くは人手不足からおきています。認可外保育園の無償化は「劣悪施設を排除するため」の基準を満たした施設に限定すべき。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）  
当選7回、東京大学医学部卒業、  
小児科医、あべともここどもクリニック（湘南台）理事長  
現在、内閣委員会筆頭理事・予算委員会委員



[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012

横浜市中区相生町 4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592



11月7日子ども子育てPTにて（右が泉市長）

国による一時しのぎ策によるひずみは、結局は子どもとその家族、地方自治体に押し寄せます。世田谷区では国が待機児童対策の切り札として昨年、創設した「企業主導型保育所」で職員が一斉に退職して休園となる事態が今月に発生しました。企業主導型保育所は企業が従業員や近隣住民の子どもを対象として設置しますが、保育士の配置基準が緩く、子どもの安全が確保できないリスクが高まる上に、経営も立ち行かない問題が発生してしまつたのです。幼児教育無償化は子どもの安全第一で練り直すべきです。